

JIS

滑り軸受—用語，定義及び分類— 第 1 部：設計，軸受材料及びその特性

JIS B 0162-1 : 2006

(JSME/JSA)

平成 18 年 3 月 25 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 機械要素技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	大 園 成 夫	東京電機大学
(委員)	岡 野 正 敏	社団法人日本バルブ工業会
	加 藤 一 彦	社団法人日本ばね工業会
	桑 田 浩 志	財団法人日本規格協会
	下 条 光 則	社団法人日本ベアリング工業会
	小 林 正 彦	社団法人日本工作機械工業会
	佐々木 信 也	独立行政法人産業技術総合研究所
	高 辻 利 之	独立行政法人産業技術総合研究所
	土 屋 孝 夫	社団法人自動車技術会
	飛弾野 文 英	日本工具工業会
	丸 山 一 男	工学院大学
	望 月 正 紀	社団法人日本ねじ工業協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 18.3.25

官 報 公 示：平成 18.3.27

原 案 作 成 者：社団法人日本機械学会

(〒160-0016 東京都新宿区信濃町 35 信濃町煉瓦館 TEL 03-5360-3500)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：機械要素技術専門委員会 (委員長 大園 成夫)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、社団法人日本機械学会 (JSME)／財団法人日本規格協会 (JSA) から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

制定に当たっては、日本工業規格と国際規格との対比、国際規格に一致した日本工業規格の作成及び日本工業規格を基礎にした国際規格原案の提案を容易にするために、ISO 4378-1 : 1997, Plain bearings—Terms, definitions and classification—Part 1 : Design, bearing materials and their properties を基礎として用いた。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任をもたない。

JIS B 0162-1 には、次に示す附属書がある。

附属書 (参考) **JIS** と対応する国際規格との対比表

JIS B 0162 の規格群には、次に示す部編成がある。

JIS B 0162-1 第 1 部：設計、軸受材料及びその特性

JIS B 0162-2 第 2 部：摩擦及び摩耗

JIS B 0162-3 第 3 部：潤滑

JIS B 0162-4 第 4 部：計算パラメータ及びその記号

目 次

	ページ
序文.....	1
1. 適用範囲.....	1
2. 分類.....	1
3. 用語及び定義.....	2
附属書（参考）JIS に対応する国際規格との対比表.....	19
解 説.....	25
索 引.....	27

滑り軸受—用語，定義及び分類—

第 1 部：設計，軸受材料及びその特性

Plain bearings—Terms, definitions and classification— Part 1 : Design, bearing materials and their properties

序文 この規格は，1997年に第2版として発行された ISO 4378-1, Plain bearings—Terms, definitions and classification—Part 1 : Design, bearing materials and their properties を翻訳し，技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお，この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は，原国際規格を変更している事項である。変更の一覧表をその説明を付けて，**附属書（参考）**に示す。

1. 適用範囲 この規格は，滑り軸受で最も一般的に使用される用語，定義及び分類について規定する。

備考 この規格の対応国際規格を，次に示す。

なお，対応の程度を表す記号は，ISO/IEC Guide 21に基づき，IDT（一致している），MOD（修正している），NEQ（同等でない）とする。

ISO 4378-1 : 1997, Plain bearings—Terms, definitions and classification—Part 1 : Design, bearing materials and their properties (MOD)

2. 分類 用語の分類は，次による。

- a) 一般的な用語
- b) 滑り軸受の形式及び分類
- c) 滑り軸受ユニットの構成要素
- d) 滑り軸受の構成要素
- e) 滑り軸受の主要寸法
- f) 軸受材料及びその特性